

平成 21 年度スマートハウス実証プロジェクト

OSGi ソフトウェア開発

住宅 API WEB アクセス仕様書

大和ハウス工業株式会社

2010 年 2 月

2. 2. 2 エアコン

宅内 Web アクセスのバンドル(エアコン)の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_X](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_X)」

(*) X: エアコンバンドルの連番

表 2.2.2-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

キー		値		URL
名称	reqkey	名称	reqvalue	
エアコン電源状態設定	OperationStatus	オン	ON	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=ON
		オフ	OFF	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF
運転モード設定	Mode	自動	Auto	&reqkey=Mode&reqvalue=Auto
		冷房	Cooling	&reqkey=Mode&reqvalue=Cooling
		暖房	Heating	&reqkey=Mode&reqvalue=Heating
		除湿	Dehumidifying	&reqkey=Mode&reqvalue=Dehumidifying
湿度設定	HumiditySetting	除湿低	Low	&reqkey=HumiditySetting&reqvalue=Low
		除湿	Middle	&reqkey=HumiditySetting&reqvalue=Middle
		除湿高	High	&reqkey=HumiditySetting&reqvalue=High
温度設定	TemperatureSetting	温度※	※	&reqkey=TemperatureSetting&reqvalue=17
風量設定	WindVolume	自動	Auto	&reqkey=WindVolume&reqvalue=Auto
		微風	Low	&reqkey=WindVolume&reqvalue=Low
		弱風	Middle	&reqkey=WindVolume&reqvalue=Middle
		強風	High	&reqkey=WindVolume&reqvalue=High
空気清浄機能状態設定	AirPurifier	オン	ON	&reqkey=AirPurifier&reqvalue=ON
		オフ	OFF	&reqkey=AirPurifier&reqvalue=OFF

※: 温度設定は 17°C から 30°C まで設定できる。

例えば、URL 「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">>true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.2.2-1 リクエスト XML

上記XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.2-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result (data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「http:// [HGWIP アドレス] /smart/rest/value?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_X」

(*) X: エアコンバンドルの連番

表 2.2.2-3 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
エアコン電源状態設定	OperationStatus	&key=OperationStatus	現在のエアコン電源状態を取得する。
運転モード設定	Mode	&key=Mode	現在の運転モードの状態を取得する。
湿度設定	HumiditySetting	&key=HumiditySetting	現在の湿度設定を取得する。
温度設定	TemperatureSetting	&key=TemperatureSetting	現在の温度設定を取得する。
風量設定	WindVolume	&key=WindVolume	現在の風量設定を取得する。
空気清浄機能設定	AirPurifier	&key=AirPurifier	現在の空気清浄機能設定を取得する。
室内湿度	RoomHumid	&key=RoomHumid	現在の室内湿度を取得する
室内温度	RoomTemp	&key=RoomTemp	現在の室内温度を取得する。

例えば、URL 「http:// [HGWIP アドレス] /smart/rest/value?deviceid=echonet.HomeAirConditioner_X&key=RoomTemp」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="value">20</data>
</resultset>
```

図 2.2.2-2 値取得 XML

上記XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.2-4 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得値

(3) 共通リクエスト

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

(4) 共通値取得

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

2. 2. 3 電力量センサ

宅内 Web アクセスのバンドル（電力量センサ）の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.EnergySensor_X](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.EnergySensor_X)」

(*) X : 電力量センサバンドルの連番

表 2.2.3-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

キー		値		URL
名称	reqkey	名称	reqvalue	
稼動状況設定	OperationStatus	稼働	ON	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=ON
		停止	OFF	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF
現在時刻設定	PresentTime	時刻※1	※1	&reqkey=PresentTime&reqvalue=00:00
現在年月設定	PresentDate	年月※2	※2	&reqkey=PresentDate&reqvalue=1980/01/01

※1 : 現在時刻は hh:mm の形式で、00:00 から 23:59 の範囲で設定できる。

※2 : 現在年月は yyyy/mm/dd の形式で、1980/01/01 から 2099/12/31 の範囲で設定できる。

例えば、URL 「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.EnergySensor_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.EnergySensor_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">>true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.2.3-1 リクエスト XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.3-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result (data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http://\[HGWIPアドレス\]/smart/rest/value?deviceid=echonet.EnergySensor_X](http://[HGWIPアドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.EnergySensor_X)」

(*) X: 電力量センサバンドルの連番

表 2.2.3-3 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
稼働状況設定	OperationStatus	&key=OperationStatus	現在の電力量センサの稼働状況を取得する。
積算電力量設定	CumulatedPower	&key=CumulatedPower	現在の積算電力量を取得する。
小容量センサの 瞬時電力	SmallSensor	&key=SmallSensor	現在の小容量センサの瞬時電力を取得する。
大容量センサの 瞬時電力	LargeSensor	&key=LargeSensor	現在の大容量センサの瞬時電力を取得する。
積算電力量計測 履歴情報	CumulatedPowerLog	&key=CumulatedPowerLog	現在の積算電力量計測履歴情報を取得する。
実行電圧値	EffectiveVoltage	&key=EffectiveVoltage	現在の実行電圧値を取得する。
現在時刻設定	PresentTime	&key=PresentTime	現在の時刻を取得する
現在年月設定	PresentDate	&key=PresentDate	現在の年月を取得する。

例えば、URL 「[http://\[HGWIPアドレス\]/smart/rest/value?deviceid=echonet.EnergySensor_1&key=OperationStatus](http://[HGWIPアドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.EnergySensor_1&key=OperationStatus)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="value">OFF</data>
</resultset>
```

図 2.2.3-2 値取得 XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.3-4 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得値

(3) 共通リクエスト

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

(4) 共通値取得

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

2. 2. 4 来客センサ

宅内 Web アクセスのバンドル（来客センサ） の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.VisitorSensor_X](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.VisitorSensor_X)」

(*) X: 来客センサバンドルの連番

表 2.2.4-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

キー		値		URL
名称	reqkey	名称	reqvalue	
移動状況設定	OperationStatus	稼動	ON	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=ON
		停止	OFF	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF

例えば、URL 「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.VisitorSensor_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.VisitorSensor_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">>true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.2.4-1 リクエスト XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.4-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result (data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http://\[HGWIPアドレス\]/smart/rest/value?deviceid=echonnet.VisitorSensor_X](http://[HGWIPアドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonnet.VisitorSensor_X)」

(*) X: 来客センサバンドルの連番

表 2.2.4-3 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
稼働状況設定	OperationStatus	&key=OperationStatus	現在の来客センサの稼働状況を取得する。
来客検知状態	VisitorDetection	&key=VisitorDetection	現在の来客検知状態を取得する。

例えば、URL 「[http://\[HGWIPアドレス\]/smart/rest/value?deviceid=echonnet.VisitorSensor_1&key=VisitorDetection](http://[HGWIPアドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonnet.VisitorSensor_1&key=VisitorDetection)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="value">Detect</data>
</resultset>
```

図 2.2.4-2 値取得 XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.4-4 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得データ

(3) 共通リクエスト

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

(4) 共通値取得

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

2. 2. 5 一般照明

宅内 Web アクセスのバンドル（一般照明）の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.GeneralLighting_X](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.GeneralLighting_X)」

(*) X: 一般照明バンドルの連番

表 2.2.5-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

キー		値		URL
名称	reqkey	名称	reqvalue	
稼働状況設定	OperationStatus	稼働	ON	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=ON
		停止	OFF	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF

例えば、「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.GeneralLighting_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.GeneralLighting_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF)」にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">>true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.2.5-1 リクエスト XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.5-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result (data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.GeneralLighting_X」

(*) X: 一般照明バンドルの連番

表 2.2.5-3 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
稼働状況設定	OperationStatus	&key=OperationStatus	現在の一般照明の稼働状況を取得する。

例えば、URL 「http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.GeneralLighting_1&key=OperationStatus」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">true</result>
  <data type="value">OFF</data>
</resultset>
```

図 2.2.5-2 値取得 XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.5-4 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得データ

(3) 共通リクエスト

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

(4) 共通値取得

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

2. 2. 6 深夜電力用電気温水器

宅内 Web アクセスのバンドル（深夜電力用電気温水器）の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=echonet.WaterHeater_X](http://[HGWIIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.WaterHeater_X)」

(*) X : 深夜電力用電気温水器バンドルの連番

表 2.2.6-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

名称	キー		値		URL
	reqkey	名称	reqvalue		
稼働状況設定	OperationStatus	稼働	ON	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=ON	
		停止	OFF	&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF	
沸き上げ自動設定	AutoWaterHeatingStatus	自動	Auto	&reqkey=AutoWaterHeatingStatus&reqvalue=Auto	
		手動	Manual	&reqkey=AutoWaterHeatingStatus&reqvalue=Manual	
沸き上げ湯温度自動設定	AutoWaterTempStatus	自動	Auto	&reqkey=AutoWaterTempStatus&reqvalue= Auto	
		手動	Manual	&reqkey=AutoWaterTempStatus&reqvalue= Manual	
沸き上げ湯温度設定	WaterHeatingTemp	温度※1	※1	&reqkey=WaterHeatingTemp&reqvalue=30	
昼間沸き増し設定	DayReheatingStatus	許可	Allowed	&reqkey=DayReheatingStatus&reqvalue= Allowed	
		禁止	Prohibited	&reqkey=DayReheatingStatus&reqvalue= Prohibited	
給湯温度設定値	SupplyWaterTemp	温度※2	※2	&reqkey=SupplyWaterTemp&reqvalue=30	
風呂温度設定値	BathWaterTemp	温度※3	※3	&reqkey=BathWaterTemp&reqvalue=30	
沸き上げ湯量設定	BathWaterVolume	湯量※4	※4	&reqkey=BathWaterVolume&reqvalue=0	
風呂自動モード	AutoHeatingModeStatus	自動	Auto	&reqkey=AutoHeatingModeStatus&reqvalue=Auto	
		手動	Manual	&reqkey=AutoHeatingModeStatus&reqvalue=Manual	
風呂足し湯設定	WaterSupplyStatus	オン	ON	&reqkey=WaterSupplyStatus&reqvalue=ON	
		オフ	OFF	&reqkey=WaterSupplyStatus&reqvalue=OFF	
風呂ぬるめ設定	TepidBathWaterStatus	オン	ON	&reqkey=TepidBathWaterStatus&reqvalue=ON	
		オフ	OFF	&reqkey=TepidBathWaterStatus&reqvalue=OFF	
風呂湯量設定	BathWaterVolumeLevel	湯量レベル※5	※5	&reqkey=BathWaterVolumeLevel&reqvalue=1	
ON タイマ予約設定	OnTimerStatus	入	ON	&reqkey=OnTimerStatus&reqvalue=ON	
		切	OFF	&reqkey=OnTimerStatus&reqvalue=OFF	
ON タイマ予約時刻設定	OnTimerAbsoluteTime	時刻※6	※6	&reqkey=OnTimerAbsoluteTime&reqvalue=00:00	
現在時刻設定	PresentTime	時刻※7	※7	&reqkey=PresentTime&reqvalue=00:00	

※1 : 沸き上げ温度設定は 30℃から 100℃の範囲で、1℃単位で設定できる。

※2 : 給湯温度設定は 30℃から 75℃の範囲で、1℃単位で設定できる。

※3 : 風呂温度設定は 30℃から 75℃の範囲で、1℃単位で設定できる。

※4 : 沸き上げ湯量設定は 0%から 100%の範囲で、1%単位で設定できる。

※5 : 風呂湯量設定は 1 から 8 まで、8 段階の範囲で設定できる。

※6 : ON タイマ予約時刻設定は hh:mm の形式で、00:00 から 23:59 の範囲で設定できる。

※7 : 現在時刻設定は hh:mm の形式で、00:00 から 23:59 の範囲で設定できる。

例えば、URL「[http://\[HGWIP アドレス\]/smart/rest/request?deviceid=echonet.WaterHeater_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=echonet.WaterHeater_1&reqkey=OperationStatus&reqvalue=OFF)」にアクセスすると、下記XMLが返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.2.6-1 リクエスト XML

上記XMLで使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.6-2 XML内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result (data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIIP アドレス\] /smart/rest/value?deviceid=echonet.WaterHeater_X](http://[HGWIIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.WaterHeater_X)」

(*) X: 深夜電力用電気温水器バンドルの連番

表 2.2.6-3 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
稼働状況設定	OperationStatus	&key=OperationStatus	現在の深夜電力用電気温水器の稼働状態を取得する。
沸き上げ自動設定	AutoWaterHeatingStatus	&key=AutoWaterHeatingStatus	現在の沸き上げ自動設定を取得する。
沸き上げ湯温度自動設定	AutoWaterTempStatus	&key=AutoWaterTempStatus	現在の沸き上げ湯温度自動設定を取得する。
沸き上げ状態設定	WaterHeaterStatus	&key=WaterHeaterStatus	現在の沸き上げ状態設定を取得する。
沸き上げ湯温設定	WaterHeatingTemp	&key=WaterHeatingTemp	現在の沸き上げ湯温設定を取得する。
昼間沸き増し設定	DayReheatingStatus	&key=DayReheatingStatus	現在の昼間沸き増し設定を取得する。
温水器湯温度	MeasuredWaterTemp	&key=MeasuredWaterTemp	現在の温水器湯温度を取得する
給湯温度	SupplyWaterTemp	&key=SupplyWaterTemp	現在の給湯温度を取得する。
風呂温度	BathWaterTemp	&key=BathWaterTemp	現在の風呂温度を取得する。
沸き上げ湯量	BathWaterVolume	&key=BathWaterVolume	現在の沸き上げ湯量を取得する。
残湯量	MeasuredRemainingWater	&key=MeasuredRemainingWater	現在の残湯量を取得する。
タンク容量	TankCapacity	&key=TankCapacity	現在のタンク容量を取得する。
風呂自動モード設定	AutoHeatingModeStatus	&key=AutoHeatingModeStatus	現在の風呂自動モード設定を取得する。
風呂足し湯設定	WaterSupplyStatus	&key=WaterSupplyStatus	現在の風呂足し湯設定を取得する。
風呂ぬるめ設定	TepidBathWaterStatus	&key=TepidBathWaterStatus	現在の風呂ぬるめ設定を取得する。
風呂湯量設定	BathWaterVolumeLevel	&key=BathWaterVolumeLevel	現在の風呂湯量設定を取得する。
ON タイマ予約設定	OnTimerStatus	&key=OnTimerStatus	現在の ON タイマ予約設定を取得する。
ON タイマ予約時刻設定	OnTimerAbsoluteTime	&key=OnTimerAbsoluteTime	現在の ON タイマ予約時刻設定を取得する。
現在時刻設定	PresentTime	&key=PresentTime	現在の現在時刻を取得する。

例)

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/value?deviceid=echonet.WaterHeater_1&key=TankCapacity](http://[HGWIPアドレス]/smart/rest/value?deviceid=echonet.WaterHeater_1&key=TankCapacity)」
上記 URL にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">true</result>
  <data type="value">460</data>
</resultset>
```

図 2.2.6-2 値取得 XML

上記 XML で使用されるタグを以下に示す。

表 2.2.6-4 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得データ

(3) 共通リクエスト

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

(4) 共通値取得

本項目については「2. 2. 1 ECHONET 機器共通」を参照のこと。

2. 3 接点機器

接点機器で取り扱うデバイスを、表 2.3-1 に示す。

表 2.3-1 接点機器のデバイス

デバイス	概要	参照先
玄関錠	玄関錠へのアクセス方法	2. 3. 1
窓センサ	窓センサへのアクセス方法	2. 3. 2
防犯ブザー	防犯ブザーへのアクセス方法	2. 3. 3
セットスイッチ	セットスイッチへのアクセス方法	2. 3. 4

2. 3. 2 窓センサ

宅内 Web アクセスのバンドル (窓センサ) の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

無し。

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/value?deviceid=dio.WindowSensor](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=dio.WindowSensor)」

表 2.3.2-1 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
センサ状態取得	OpenCloseStatus	&key=OpenCloseStatus	現在の窓センサの状態を取得する。

例えば、URL 「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/value?deviceid=dio.WindowSensor&key=OpenCloseStatus](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=dio.WindowSensor&key=OpenCloseStatus)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">true</result>
  <data type="value">Open</data>
</resultset>
```

図 2.3.2-1 値取得 XML

XML 内で使用されるタグ一覧を以下に示す。

表 2.3.2-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	取得データ

2. 3. 3 防犯ブザー

宅内 Web アクセスのバンドル (防犯ブザー) の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=dio.CrimePeventionBuzzer](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=dio.CrimePeventionBuzzer)」

表 2.3.3-1 reqkey, reqvalue を用いた URL の構成表

キー		値		URL
名称	reqkey	名称	reqvalue	
防犯ブザー状態 設定	BuzzerStatus	鳴動	Sounding	&reqkey=BuzzerStatus&reqvalue=Sounding
		停止	Stop	&reqkey=BuzzerStatus&reqvalue=Stop

例えば、URL 「[http:// \[HGWIP アドレス\] /smart/rest/request?deviceid=dio.CrimePeventionBuzzer&reqkey=BuzzerStatus&reqvalue=Sounding](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/request?deviceid=dio.CrimePeventionBuzzer&reqkey=BuzzerStatus&reqvalue=Sounding)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <result type="value">>true</result>
  </data>
</resultset>
```

図 2.3.3-1 リクエスト XML

XML 内で使用されるタグ一覧を以下に示す。

表 2.3.3-2 XML 内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
result(data タグ内)	設定結果

(2) 値取得

無し。

2. 4 その他機器

ECHONET 機器および接点機器以外のデバイスを、表 2.4-1 に示す。

表 2.4-1 その他機器のデバイス

デバイス	概要	参照先
インテリジェンストイレ	インテリジェンストイレへのアクセス方法 (使用者の健康情報 (体温、尿糖値、血圧、体重) の取得)	2. 4. 1

2. 4. 1 インテリジェンストイレ

宅内 Web アクセスのバンドル（インテリジェンストイレ） の使用方法について示した資料である。

(1) リクエスト

無し。

(2) 値取得

リクエスト URL は、以下の URL の末尾に下記表で示す URL を一種類のみ繋げたものである。

「[http://\[HGWIP アドレス\]/smart/rest/value?deviceid=apl.Toilet](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=apl.Toilet)」

表 2.4.1-1 key を用いた URL の構成表

名称	key	URL	概要
測定値の取得(ユーザ1)	User1	&key=User1	ユーザ1の測定値を取得する。
測定値の取得(ユーザ2)	User2	&key=User2	ユーザ2の測定値を取得する。
測定値の取得(ユーザ3)	User3	&key=User3	ユーザ3の測定値を取得する。
測定値の取得(ユーザ4)	User4	&key=User4	ユーザ4の測定値を取得する。

例えば、URL 「[http://\[HGWIP アドレス\]/smart/rest/value?deviceid=apl.Toilet&key=User1](http://[HGWIP アドレス]/smart/rest/value?deviceid=apl.Toilet&key=User1)」 にアクセスすると、下記 XML が返信される。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<resultset type="map">
  <result type="value">>true</result>
  <data type="map">
    <n20100101083000 type="map">
      <index type="value">1</index>
      <temperature type="value">26.5</temperature>
      <menstruation type="value">>false</menstruation>
      <fever type="value">>false</fever>
      <morning type="value">>true</morning>
      <urine_sugar type="value">50</urine_sugar>
      <high_BP type="value">140</high_BP>
      <low_BP type="value">70</low_BP>
      <pulse type="value">110</pulse>
      <weight type="value">60.5</weight>
    </n20100101083000>
  </data>
</resultset>
```

図 2.4.1-1 値取得 XML

XML内で使用されるタグ一覧を以下に示す。

表 2.4.1-2 XML内タグ一覧表

タグ名	概要
resultset	結果一覧
result	アクセス結果
data	情報一覧
n20100101083000※	検査日付※
index	測定番号
temperature	体温
menstruation	月経
fever	発熱
morning	朝一
urine_sugar	尿糖値
high_BP	最高血圧
low_BP	最低血圧
pulse	脈拍
weight	体重

※：検査日付のフォーマットはyyyymmddhhmmssを示し、タグ名は検査日によって異なる。